

野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO9
令和4年11月30日 発行
校長 丸山 穰

校門の桜の木も、すっかり葉を落としました。浅間山にも3回降雪があり、小諸に雪が舞うのももうすぐかなと思わせます。新型コロナの学級閉鎖もあり、感染者数もなかなか落ち着かない状態です。うがい手洗いなども丁寧に続けていきます。

乗り物遠足(2学年) 11/11(金)



生活科の学習の一環として、佐久市子供未来館までいってきました。駅で自分で切符を買って、電車に乗って行きます。初めて切符を買う子どもも多く、ちょっとドキドキしながら買いました。未来館でも楽しい体験をたくさんして、大満足で帰ってきました。

夜レク・キャリア教育(5学年) 11/11(金)・17日(木)

5年生のキャンプは中止になってしまいましたが、先月は登山を計画して登ってきました。そして、キャンプファイヤーの代わりに、夕方から夜にかけて、肝試しや花火を計画しました。普段と違う夜の学校を舞台に、自分たちの計画したことを自分たちが中心になって実施しました。楽しさとともに、「できる自分」を感じてくれたのではないかと思います。

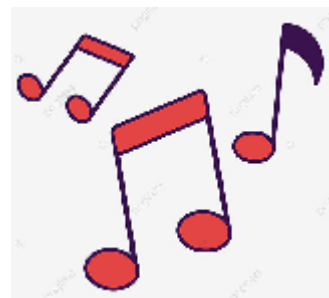
キャリア教育の一環で、第一線で働く方のお話を聞きました。今回は、フットサルのクラブチームを立ち上げて、現役の選手としても活躍している土屋さんという方をお呼びしました。熱い思いや苦労話、喜びややりがいを感じる場面のことなどを興味津々で聴くことができました。

来年は、最高学年です。今回のような活動を通して、頼もしい最高学年になっていってくれそうです。



課外クラブ活動

○管楽部が、11/19 に全日本小学生バンドフェスティバルに参加してきました。子どもたちの素晴らしい演奏で、みごと金賞をいただくことができました。コロナ感染防止対策にもとても気を配って、もう一つの目標だった「全員が全国大会参加」も達成できました。早川先生、浅野先生を始め、保護者の皆様や地域のたくさんの方々にも支えていただき、達成できたことでもあります。ありがとうございました。



また、11/25 に「こもろっこ音楽交流会」に参加しました。市内の小中高等学校の音楽系クラブ等が集まって、演奏を聴き合って交流しました。校種を超えた演奏を聴くことで、いろんな刺激をもらい、改めて音楽の楽しさを感じてきた様子でした。

なかよし旬間(11/14~11/28)

旬間のねらいを「友だちや自分を大切にしよう」ということで、標語づくりや同じ動画を見ていろいろな学年の感想を聞き合ったり、放送で「OMOIYARI のうた」を聞いたりしました。普段から大切にしている気持ちを、改めて見つめ直し、これからの生活を充実させてもらいたいと思っています。



米・食味分析鑑定コンクール:国際大会in小諸 12/2・3

おいしいお米を生産することを目指した、国際大会で、国内外から約 6000 もの出品があります。毎年開催地を変えて行われ、今年は小諸で開かれます。小諸市の今年的一大イベントです。

本校でも 5 年生がお米を作っています。せっかく小諸で開かれるので、ということで、エントリーしました。すると、なんと小学校部門で「特別優秀賞」をいただくことができました。表彰式に代表者が出席させていただくことになりました。



さらに、大会の開会式にあたる場面のオープニングに、管楽部に、是非演奏をしてもらいたいと依頼され、演奏することになりました。

どちらも、努力の成果を認められ、参加します。このような経験は滅多にありません。経験を素晴らしい心の財産にしてもらいたいと思います。